



かがやき

海田西小学校
通級指導教室だより No. 6
令和3年6月18日(金)

自閉スペクトラム症の子は、どんなことに困っているの？

学校は、ジャングル？！



同じ自閉スペクトラム症でも、症状はさまざまと言われていますが、特性としてあらわれやすいものとして次の3つがあります。

1. 人とのコミュニケーションが苦手
相手の微妙な表情・あいまいな表現の理解が難しい。
自分の気持ちを言葉で伝えることが難しい。
2. 感覚が過敏
光・音・におい・肌ざわりなどに過敏に反応。
逆に、けがをしても痛がらない。真冬でも半袖で平気。
3. こだわりが強い
同じ行動を繰り返す。
一人で遊ぶことが好き。

これらの特性をもっている子ども達は、どんなことに困っているのでしょうか。
自閉症の人にとって、「世界はジャングルに住んでいるようなもの」と、よく言われます。
「どちらに進んだら良いのか分からない。」「予測ができない。」「何が起きるか分からない。」

このような状況の中では、誰しも不安で心細い気持ちになり、とても疲れますよね。学校でも同じで、特性に合った配慮のない状態は、ジャングルなのかもしれません。何に困っていて、どんな気持ちでいるのかを理解した上での支援を心がけたいと思っています。

通級指導教室では、例えば、次のような学習をしています。

子ども達の声
「こんなことに困っています！」

そこで、かがやき教室では・・・

「ちょっと待って。」っていつまで？

- ・「ちょっと」は、どれくらいか分からない。
- ・見通しがもてなくて不安。
- ・その間、何をしたらいいのか分からなくて困る。



「ちょっと」を具体化する。
→「何分くらいですか？」と、聞く練習。

「待つ」を具体化する。
→「何をしていたらいいですか？」
「〇〇をしてもいいですか？」
と、聞く練習。